

科 目 名	芸術論 IB (木曜日・3限)
担当教員	塚原 史
受付期間	開 始: 7 月 22 日(金) 締 切: 7 月 27 日(水)
提 出 先	☒ Course N@vi 【締切時間 23:59】 ☐ 法学部事務所レポートボックス 【締切時間 17:00】 ☐ 教場 ☐ その他()
書 式	用紙サイズ指定:Web 提出 書式指定: ※Course N@vi への提出の場合は、原則として Microsoft Word(.doc、.docx のみ) 字数制限:1600字~2000字程度 その他指定:()

(Box) ➤

課題題目 (課題内容)	20 世紀以降の現代アートの特徴である「著者性」(誰が作ったか?)と「表象性」(何を描いたか?) の否定は、ピカソからダダ、未来派、シュルレアリスム等を経て荒川修作へと至る展開の中でどのような形をとったか? 授業内容や美術展からから具体例を挙げて論じなさい。 [Web(コースナビ)で提出(1600-2000 字程度)。無断引用厳禁。必ず引用元を明記すること。ネット上の記述の無断コピー＆ペースト等は不正行為として処分の対象となる。]
----------------	---

(Board) ➤